

1. 科目名 (単位数)	社会調査法 (2単位)	3. 科目番号	SSMP2107 SNMP2307 SCMP2307 SBMP2107 PSMP2407
2. 授業担当教員	保原 伸弘		
4. 授業形態	講義、小テスト、ディスカッション、調査方法に関する実習	5. 開講学期	秋期
6. 履修条件・他科目との関係	統計学の履修により理解度は深まります		
7. 講義概要	<p>本講義は国が定める社会福祉士および精神保健福祉士の養成カリキュラムにおける「社会福祉調査の基礎」(旧カリキュラムでは「社会調査の基礎」)に対応するものである。本講義では、社会調査および社会福祉調査の基礎的事項を学習するが、社会福祉調査は社会福祉領域での社会調査のことであるため、本講義の内容の多くの部分は社会調査に関するものとなる。</p> <p>社会調査の目的は、社会事象について現地調査を行い、データを収集して、調査結果から一般的な規則性を見出し、必要に応じて取るべき行動を定めようとする事である。現在、社会福祉など専門分野では、人々のニーズの把握や解決策を量的調査や質的調査に基づいて提案するなど科学的エビデンスが求められている。本講義を受講することにより、社会調査の重要性、世の中に氾濫する社会調査の真実や問題点、社会福祉領域における社会調査の活用法について把握することが可能となる。</p>		
8. 学習目標	<ol style="list-style-type: none"> 1.社会調査・社会福祉調査の意義と目的について理解し、説明できるようになる。 2.社会調査と社会福祉の歴史的関係について理解し、説明できるようになる。 3.社会調査・社会福祉調査における倫理や個人情報保護の留意点について理解し、説明できるようになる。 4.量的調査と質的調査の方法および調査の結果について適切に理解し、説明できるようになる。 5.仮説設定→質問項目作成→現地調査→データ分析→分析結果の発表という調査の流れについて見通しを持つようになる。 6.ソーシャルワークにおける評価の意義と方法について理解し、説明できるようになる。 7.社会福祉士・精神保健福祉士国家試験受験に必要な基礎知識について説明できるようになる(受験予定学生の場合)。 		
9. アサイメント(宿題)及びレポート課題	適宜課します		
10. 教科書・参考書・教材	<p>【教科書】 橋本有理子編著『最新・はじめて学ぶ社会福祉 5 社会福祉調査の基礎』ミネルヴァ書房、2021。 *授業中に適宜資料を配布する。</p> <p>【参考書】 一般社団法人日本ソーシャルワーク教育学校連盟編『最新 社会福祉士養成講座 精神保健福祉士養成講座 5 社会福祉調査の基礎』中央法規出版、2021。</p>		
11. 成績評価の規準と評定の方法	<p>○成績評価の規準</p> <ol style="list-style-type: none"> 1.社会調査・社会福祉調査の意義と目的について理解し、説明できるようになったか。 2.社会調査と社会福祉の歴史的関係について理解し、説明できるようになったか。 3.社会調査・社会福祉調査における倫理や個人情報保護の留意点について理解し、説明できるようになったか。 4.量的調査と質的調査の方法および調査の結果について適切に理解し、説明できるようになったか。 5.仮説設定→質問項目作成→現地調査→データ分析→分析結果の発表という調査の流れについて見通しを持つようになったか。 6.ソーシャルワークにおける評価の意義と方法について理解し、説明できるようになったか。 <p>○評定の方法</p> <p>小テスト 40%</p> <p>授業の態度や内容の把握など 30%</p> <p>レポート、調査方法に関する実習 30%</p>		
12. 受講生へのメッセージ	<p>公的サービスを提供する福祉施設では、長期的な計画に基づき収益の確保のために利用者に対するサービスの質を高めなければならない。そのためには、サービス利用者を対象にサービス満足度などに関する調査が必要であるが、本講義を受講することにより社会調査の方法を身につけることが可能なので、就職活動の際に有効である。</p> <p><受講生に期待される学習態度></p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 授業には自分なりの問題意識や課題を持って、積極的な態度で参加することを望みます。 2. 授業のための予習は必ず行い、ノートを整理してください。 3. 理解できないことや疑問点がある場合は、必ず質問してください。質問することは、学んでいる者にとって決して恥ずかしいことではありません。 4. 人が発言している時には、他の受講生は静かに傾聴してください。 5. 授業は、正当な理由がない限り欠席・遅刻・早退をしないでください。 6. レポート等の提出期限を厳守してください。提出期限を守らない場合は、正当な理由がない限り減点の対象となります。 7. 授業中の私語、居眠り、携帯電話の作動、飲食等、学習活動を妨げる行為は厳禁とします。 		
13. オフィスアワー	別途通知します		
14. 授業展開及び授業内容			
講義日程	授業内容	学習課題	
第1回	講義概要についてシラバスを中心に説明	事前学習	社会調査法の学習ノートを準備し、講義に臨

			むこと
		事後学習	社会調査をしなければならない理由について吟味する。
第2回	1. 社会調査の定義、必要性 2. 信頼性と妥当性について学習	事前学習	1、2をノートにまとめる。(pp. 1-6、84-91)
		事後学習	社会調査の種類の短所と長所の内容を復習する。
第3回	1. データ収集の方法について学習 2. 社会調査における倫理と個人情報保護	事前学習	測定と尺度の種類の内容をノートにまとめる。(pp. 62-72, 119-121, 13-16)
		事後学習	測定と社個人情報の保護が必要な理由について考える。
第4回	1. 従属変数と独立変数を理解する 2. 仮説を作成する：グループ作業 3. 調査対象者の選定：母集団について理解する	事前学習	概念を理解し、仮説と母集団に関する内容をまとめる。 高齢者に関して関心がある資料を集める。(pp. 63-68)
		事後学習	仮説を作成しないとどのような問題が生じるかについて考える。仮説を精査する。
第5回	1. 測定の尺度の種類について学習 2. 質問文と選択肢を作成する：グループ作業 3. 質問文と選択肢の注意点を理解する	事前学習	高齢者を対象に仮説を3つ作成する。質問文の作成と選択肢の内容をまとめる。(pp. 72-81)
		事後学習	仮説に関連する質問項目になっているかどうかを確認する。
第6回	1. 調査対象者の選定：標本調査とは何か、標本の選び方について学習 ミニテスト	事前学習	調査対象者の選定方法の内容をまとめる。(pp. 37-53)
		事後学習	標本調査の必要性について考える。 エディティングとコーディングの内容を理解する。
第7回	面接調査（インタビュー調査）：現地における面接調査	事前学習	調査対象者に調査の依頼をする。調査対象者とラポール（信頼関係）を作るための工夫をする。面接調査のための筆記用具を用意する。
		事後学習	高齢者を対象に量的調査を実施するエディティング、クリーニング、データ、変数などの統計用語を理解する。データの入力を完成する。
第8回	データ入力：グループ作業（情報室にて授業）TA必要	事前学習	データ入力のために必要な作業とは何かについて学習する
		事後学習	データ入力を完成する
第9回	データ分析：度数分布、データ入力ミス発見とデータクリーニング（情報室にて授業）TA必要	事前学習	データクリーニングとは何かを学習する。
		事後学習	調査対象者の特徴について表を作成する
第10回	1. データ入力ミス発見とデータクリーニング 2. 調査対象者の特徴について発表	事前学習	カイ2乗検定を理解する
		事後学習	仮説に基づきクロス分析と有意差を検定し、表をまとめる。
第11回	クロス集計、カイ2乗検定、変数の加工、値の変換（情報室にて授業）TA	事前学習	値の変換を練習する
		事後学習	レポートを完成する。（グループ作業）
第12回	1. 仮説に基づきクロス分析結果の発表（情報室にて授業）TA レポート作成：グループ作業	事前学習	ダミー変数とは何か学習する
		事後学習	ダミー変数を用いて相関関係分析を行う。
第13回	1. 相関関係分析 2. ダミー変数作成（情報室にて授業）TA レポート作成：グループ作業	事前学習	重回帰分析とは何か学習する（配布資料）
		事後学習	発表レポートを作成する。（グループ作業）
第14回	1. 仮説に基づき相関関係分析結果の発表（情報室にて授業）TA レポート作成：グループ作業	事前学習	発表レジюмеを完成する、発表レジюмеをコピーする。（グループ作業）
		事後学習	グループごとに反省会を開く。グループの長所と短所について確認し、提出レジюмеを精査する。
第15回	1. 調査結果の発表、レポート提出：グループミニテスト	事前学習	発表レジюмеを完成する、発表レジюмеをコピーする。（グループ作業）
		事後学習	社会福祉のニーズの発見とニーズを解決するために、社会調査をどのように活用すればいいか考える。
期末試験			